

令和 2 年度 中野区立弥生福祉作業所事業報告書

社会福祉法人 正夢の会

1. 年間総括

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の事業計画にも大きな影響があった。年間計画で予定していた主要な行事や作業所連絡会等についても軒並み中止とせざるを得ない状況を強いられた。運営面では、持病があるなどの理由により感染予防のため通所を見合わせざるを得ない方が複数おられたり、受注作業の種類や量が極端に不安定になったりという影響がみられた。一方で、新規利用者の複数名受け入れや感染予防に留意した新たな支援環境の整備、実習生の受け入れや就労移行支援においては一般就労に結び付いた利用者が複数名いたこと、社会貢献活動として中野区内で実施したフードパントリー事業への協力など、利用者・ご家族・関係機関・職員らの連携・協力もあり、杞憂の事態の中であっても一定程度の成果をあげることができた面もあった。

共生社会実現に向けての取り組みはコロナ禍でいかに実施できるか模索中であるが、次年度の実施に向け準備を進めて参りたい。

2. 事業実施内容

(1) 事業所概要

事業所名	中野区立弥生福祉作業所
所在地	東京都中野区弥生町 4-36-15
設置者	中野区
開設	昭和 62 年 11 月に中野区が弥生福祉作業所として開設 平成 15 年 4 月に支援費制度に規定する事業に移行 平成 18 年 10 月に自立支援法みなし指定 平成 24 年 4 月障害者自立支援法に規定する事業に移行 平成 26 年 4 月指定管理者として社会福祉法人正夢の会運営
サービスの種類 (定員)	生活介護 (20 名) 就労移行支援 (10 名) 就労継続支援 B 型 (45 名) 合計定員 75 名
事業所番号	1311401333
設置根拠	障害者総合支援法、中野区立弥生福祉作業所条例
	①敷地面積 1, 471.02 m ² ②延床面積 2, 251.85 m ² 弥生福祉作業所 1, 652.87 m ² 南中野児童館・中野神明学童クラブ 598.98 m ² ③構造規模 鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 3 階 ④施設内容 《地下 1 階》 男女トイレ、廊下、階段

	<p>《1階》 玄関ホール、風除室、ピロティー、階段</p> <p>《2階》 作業室、倉庫、シャワー洗濯室、男女更衣室、男女トイレ、身障者トイレ、会議室、医務・静養室、バルコニー</p> <p>《3階》 事務室、監視室、事務室倉庫、職員更衣室、利用者食堂、作業室、調理室、娯楽休憩室、給湯室、男女更衣室、バルコニー、男女トイレ、身障者トイレ、階段、和室、廊下</p>
利用時間	午前9時から午後5時
休業日等	<p>①日曜日及び土曜日</p> <p>②国民の祝日に関する法律（昭和23年法律178号）に規定する休日</p> <p>③1月2日及び同月3日まで</p> <p>④12月29日から同月31日まで</p>

(2) サービス内容

生活介護	<p>【目的】 ①利用者一人ひとりの自分らしい暮らしを支える ②本人が得意とするコミュニケーション手段を用いて意思決定支援を大切にする。 ③社会参加の機会を広げる。</p> <p>【内容】 ①作業（自主生産品の製造販売、受注加工） ②運動、③余暇、④旅行等の行事</p>
就労移行支援	<p>【目的】 ①利用者が自分にあった仕事を見つけられよう、一人ひとりに合わせた就職準備訓練を行う。 ②就職準備期間に就職の目的を明確にできるよう支援する。 ③就職後の職場定着を支援する。</p> <p>【内容】 ①作業（受注加工）、②ボランティア活動 ③ビジネスマナー等の講座、④実習、⑤旅行等の行事</p>
就労継続支援 B型	<p>【目的】 ①仕事を通じて達成感や充実感を得られるよう支援する。 ②工賃の向上 ③音楽活動や造形活動等の表現活動を提供。</p> <p>【内容】 ①作業（自主生産品製造販売、受注加工） ②表現活動（音楽活動、造形活動） ③旅行等の行事</p>

3. 利用者状況・利用実績

(1) 利用者状況

①年齢・性別（令和3年3月31日現在）

単位：人

	年齢			性別		
	男性	女性	計	男性	女性	計
生活介護	30.0	31.3	30.2	17	4	21
就労継続支援 B 型	44.5	43.4	44.1	27	15	42
就労移行	32.0	19.0	28.8	3	1	4
計	38.5	39.8	38.9	47	20	67

②援護機関（令和3年3月31日現在）

単位：人

	生活介護			就労継続支援 B 型			就労移行		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
中野区	17	4	21	27	15	42	3	1	4

③障害支援区分

単位：人

	生活介護			就労継続支援 B 型			就労移行		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
なし	0	0	0	7	2	9	1	1	2
区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 2	0	0	0	3	3	6	2	0	2
区分 3	2	0	2	4	6	10	0	0	0
区分 4	7	2	9	8	4	12	0	0	0
区分 5	4	2	6	5	0	5	0	0	0
区分 6	4	0	4	0	0	0	0	0	0

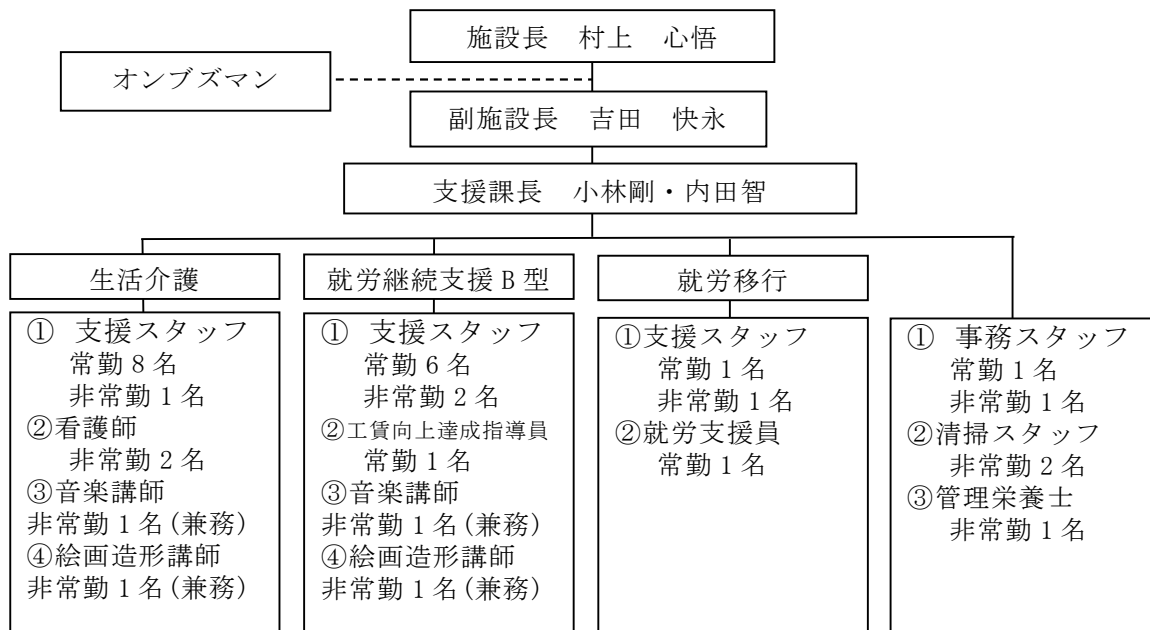
④手帳取得状況

単位：人

	愛の手帳					身体障害者手帳					
	1 度	2 度	3 度	4 度	なし	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
生活介護	1	13	7	0	0	1	2	0	0	0	0
就労継続支援 B 型	0	13	15	10	4	1	4	0	0	2	1
就労移行	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0

	精神障害者保健福祉手帳			重複障害
	1 度	2 度	3 度	
生活介護	0	1	0	1
就労継続支援 B 型	0	2	1	2
就労移行	0	0	0	0

(2) スタッフ数 (組織図/令和3年3月31日現在)



(3) 利用実績

	生活介護				就労継続支援 B 型			
	入所者数	営業日数	延べ利用者数	稼働率	登録者数	営業日数	延べ利用者数	稼働率
4月	20	21	324	77.1%	43	21	641	67.8%
5月	20	18	346	96.1%	43	18	643	79.4%
6月	20	22	385	87.5%	43	22	801	80.9%
7月	20	21	356	84.8%	43	21	738	78.1%
8月	20	20	346	86.5%	44	20	715	79.4%
9月	21	20	384	96.0%	44	20	721	80.1%
10月	21	22	412	93.6%	44	22	771	77.9%
11月	21	19	354	93.2%	44	19	667	78.0%
12月	21	20	379	94.8%	43	20	682	75.8%
1月	21	19	350	92.1%	43	19	627	73.3%
2月	21	18	341	94.7%	42	18	608	75.1%
3月	21	23	436	94.8%	42	23	787	76.0%
計	247	243	4,413	90.8%	420	243	8,401	76.8%

	就労移行			
	入所者数	営業日数	延べ利用者数	稼働率
4月	6	21	73	34.8%
5月	6	18	97	53.9%
6月	6	22	119	54.1%
7月	5	21	92	43.8%
8月	5	20	87	43.5%
9月	5	20	87	43.5%
10月	5	22	92	41.8%
11月	5	19	83	43.7%
12月	4	20	70	35.0%
1月	4	19	65	34.2%
2月	4	18	59	32.8%
3月	4	23	69	30.0%
計	59	243	993	38.7%

4. 苦情解決・リスクマネジメント

(1) レポート件数の多い項目

令和元年度と同様に不適応行動と他傷行為が多く、この2つの項目で全体の54%を占めた。それぞれの項目の件数は不適応行動が367件（前年比+47件）、他傷行為が205件（前年比+110件）であった。不適応行動や他傷行為という行動の要因と行動の機能を分析し軽減できるように努めていきたい。また、令和2年度はスタッフによる確認漏れが年間を通して見られた。

(2) リスクレベルについて

利用者行動に関わる項目でレベル4が5件発生した。5件のうち3件は救急車対応が必要な怪我という内容である。

(3) 全体として考えられる事

レポート件数は前年度（683件）に比べて370件増加した。月別の発生件数でみると6月以降の件数が多かった。今年度は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言中の在宅支援もあり、例年なら4月に見られるような、スタッフの異動や新規利用者が作業所に慣れるまでの落ち着かなさなどが原因といえるリスクが2ヵ月ほど遅くなって発生したことが、その要因となっている。

また、今年度は通常業務と新型コロナウイルス対策を平行して行う必要もあり、それに対するスタッフの不慣れさも、毎月発生した軽微なミスに繋がっていた。今後も職員のリスクに対する感度を高めるとともに、要因の分析と再発防止策を立て、それを確実に実行し重大な事故の防止に努める。

5. 第三者評価（利用満足度調査）

(1) 評価について

令和3年度は福祉サービス第三者評価の受審は行わず、中野区立弥生福祉作業所の運営管理に関する基本協定第25条の規定により利用満足度調査を実施した。調査結果については中野区と作業所連絡会にて報告を行っている。

(2) 調査方法等

実施時期：令和3年2月26日(金)アンケート。3月12日(金)締め切り

調査方法：利用者向け、家族向けにアンケート用紙を配布

(3) 評価結果

①利用者アンケート

問1.作業所であなたが困ったときに、職員は助けてくれましたか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	28 65.1%	2 4.7%	2 4.7%	11 25.6%		
問2.作業所の物や作業室、トイレなどは、安心して使えますか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	30 69.8%	6 14.0%	0 0.0%	7 16.3%		
問3.利用者同士で話したり活動したりするのは楽しいですか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	26 60.5%	5 11.6%	2 4.7%	10 23.3%		
問4.【生活介護】作業所での仕事やレクリエーションは楽しいですか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	8 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%		
問5.【就労移行・就労継続支援B型】 作業所は、新しいことを学んだり、仕事の上達に役立っていますか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	19 57.6%	3 9.1%	1 3.0%	10 30.3%		
問6.【就労移行支援】 会社見学や実習、ボランティアの体験はやりがいを感じますか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%		
問7.【就労移行支援・就労継続支援B型】 工賃の計算のしくみはわかりやすいですか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	6 18.2%	10 30.3%	8 24.2%	9 27.3%		
問8.作業所の作業室やトイレなどは、いつもきれいに片付いていますか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	32 74.4%	3 7.0%	1 2.3%	7 16.3%		
問9.職員の言葉づかいや態度、身だしなみなどで、いやな気持ちになったことはないですか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	27 62.8%	5 11.6%	2 4.7%	9 20.9%		
問10.怪我をしたり体調が悪くなったときは、職員に安心して相談できますか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	26 60.5%	6 14.0%	1 2.3%	10 23.3%		
問11.けんかやいじめがあったときに、職員はそうしたことが起こらないように、利用者が納得のいく方法で解決してくれますか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	23 53.5%	4 9.3%	1 2.3%	15 34.9%		
問12.職員は、あなたの気持ちを大切にしてくれていると思いますか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	32 74.4%	2 4.7%	0 0.0%	9 20.9%		
問13.あなたの個人的なことで、他の人に知られたくないことを、職員は他の利用者に知られないように、秘密にしてくれますか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	26 60.5%	1 2.3%	0 0.0%	16 37.2%		
問14.作業所での仕事などについての目標や計画を作るときに、職員はあなたの今の生活の様子や希望をよく聞いてくれますか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	26 60.5%	1 2.3%	1 2.3%	15 34.9%		
問15.作業所での仕事などについての目標や計画に対して、職員はどのような支援をしてくれるのか、わかりやすく説明してくれましたか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	25 58.1%	3 7.0%	1 2.3%	14 32.6%		
問16.あなたのいやなことや不満なこと、してほしいことを言ったり書いたりして伝えると、職員はちゃんと対応してくれますか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	26 60.5%	1 2.3%	1 2.3%	15 34.9%		
問17.職員には言いにくい困りごとがあったときに、職員ではない人は話を聞いてくれる外部の相談窓口がありますが、職員はそのことをわかりやすく教えてくれましたか？	はい	どちらとも言えない	いいえ	無回答他		
	17 39.5%	6 14.0%	2 4.7%	18 41.9%		
問18.作業所はあなたにとってどのくらいいいところか教えてください。	とても満足	満足	どちらとも言えない	不満	とても不満	無回答
	15 34.9%	18 41.9%	1 2.3%	2 4.7%	0 0.0%	7 16.3%

②家族アンケート

問1.正夢の会及び事業所の運営理念・方針をご存じですか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	27	11	5	3		
	58.7%	23.9%	10.9%	6.5%		
問2.事業所を取り巻く制度の動向および事業の計画について事業所から説明をうける機会はありますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	25	10	7	4		
	54.3%	21.7%	15.2%	8.7%		
問3.事業所の重要な事項に関する決定内容および検討の経過が知らされていますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	25	15	2	4		
	54.3%	32.6%	4.3%	8.7%		
問4.行事等、事業所の日常的な活動についての案内は、適切なタイミングで、わかりやすく行われていますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	36	7	0	3		
	78.3%	15.2%	0.0%	6.5%		
問5.利用者・ご家族の状況やニーズに応じて、事業所より様々な福祉サービスに関する情報の提供を適時受けていますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	25	15	2	4		
	54.3%	32.6%	4.3%	8.7%		
問6.利用前に入手した事業所に関する情報(パンフレットやホームページ、見学時の職員の説明等)はわかりやすかったですか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	4	1	0	41		
	8.7%	2.2%	0.0%	89.1%		
問7.利用契約時に職員から受けた、利用方法や料金等に関する重要事項説明はわかりやすかったですか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	3	2	0	41		
	6.5%	4.3%	0.0%	89.1%		
問8.事業所での活動(外部での実習等を含む)は、利用者が働くうえでの知識の習得や能力の向上に役立っていると思いますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	28	13	1	4		
	60.9%	28.3%	2.2%	8.7%		
問9.利用者に対する工賃は適正に支給されていると思いますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	31	9	2	4		
	67.4%	19.6%	4.3%	8.7%		
問10.給食は利用者の要望や個別の状況を踏まえて献立を工夫していると思いますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	35	6	0	5		
	76.1%	13.0%	0.0%	10.9%		
問11.支援に関する個別の目標や計画を作成する際に、職員は利用者・ご家族の状況や要望を十分に聞いていますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	39	2	0	5		
	84.8%	4.3%	0.0%	10.9%		
問12.利用者の支援に関する個別の目標や計画の内容に納得していますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	37	3	1	5		
	80.4%	6.5%	2.2%	10.9%		
問13.職員の身だしなみや言葉遣いは適切ですか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	41	2	0	3		
	89.1%	4.3%	0.0%	6.5%		
問14.職員は利用者の気持ちを尊重して、丁寧に対応していますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	35	4	0	7		
	76.1%	8.7%	0.0%	15.2%		
問15.職員は利用者間のトラブルに適切に対応していますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	28	6	0	12		
	60.9%	13.0%	0.0%	26.1%		
問16.職員は利用者に関する情報を共有して、組織的な支援を行っていますか(職員間の対応のバラつきはありませんか)	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	26	8	1	11		
	56.5%	17.4%	2.2%	23.9%		
問17.職員は家族からの相談に親身に対応していますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	37	2	0	7		
	80.4%	4.3%	0.0%	15.2%		
問18.職員に対する教育や指導は、それぞれの経験や能力等に応じて適切に行われていると思いますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	21	10	0	15		
	45.7%	21.7%	0.0%	32.6%		
問19.職員は施設内外の研修や日々の学習等を通じて専門性の向上に取り組んでいると思いますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	23	7	0	16		
	50.0%	15.2%	0.0%	34.8%		
問20.施設長は、職員が意欲をもって働ける環境を整えるためにリーダーシップを発揮していると思いますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	14	9	0	23		
	30.4%	19.6%	0.0%	50.0%		
問21.事業所に対する不満や要望を職員に気軽に言えますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	27	11	2	6		
	58.7%	23.9%	4.3%	13.0%		
問22.利用者・ご家族の不満や要望に対し、事業所はそれをきちんと受け止めて対応していますか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	25	10	1	10		
	54.3%	21.7%	2.2%	21.7%		
問23.オンブズマンなど外部の苦情・相談窓口を利用できることをご存知ですか	はい	どちらとも書えない	いいえ	無回答他		
	39	2	2	3		
	84.8%	4.3%	4.3%	6.5%		
問24.事業所の利用は、利用者が地域で自分らしい自立した生活を送るうえで、役に立っていると思いますか	とても思う	やや思う	どちらとも書えない	あまり思わない	全く思わない	無回答
	24	14	3	2	0	3
	52.2%	30.4%	6.5%	4.3%	0.0%	6.5%

6. 各サービス内容の反省点

(1) 生活介護

令和2年度は、新規の利用者2名を加え21名が通所した。平均通所率は89%であり、計画に掲げた90%は達成できなかった。その背景として、新型コロナウイルスにより通所の自粛及びPCR検査を受けたことによる欠席がある。また、昼夜逆転や通所拒否等による当日欠席もある。しかし、新型コロナウイルス終息の見通しが持てない現状でも、例年と比べても通所率は高い。令和3年度は、昨年度同様、通常業務の実践と新型コロナウイルス対策を平行しつつ、通所率90%を達成していきたい。

①日中活動の充実

i. 働くこと

受注作業の一時的な増加があり、平均月額工賃3,000円を下回ることはなかった。

しかし、1月～3月と受注作業は大幅に減少しており、令和3年度は、新規受注先の開拓が必要となっている。美大生とのコラボレーションによる新規自主製品の取り組みは、新型コロナウイルスにより何も進める事が出来なかった。

ii. 楽しむこと

調理実習を年10回実施する計画としていたが、新型コロナウイルスにより、実施出来なかった。造形活動や音楽活動は、緊急事態宣言期間以外では、3密を避ける為、5人～6人と少人数に縮小し食堂などの広いスペースで行った。新型コロナウイルスで新しい生活様式を求められる中で、利用者に「楽しむこと」をどのように提供できるのかが、令和3年度も課題となっている。

iii. 心身の健康増進

公用車を使用し、都立公園や区立公園へ出かけ園内を散策した。また、事業所近隣への散歩を実施した。令和3年度も各利用者の運動ニーズを踏まえつつ、気持ちもリフレッシュできるような運動提供を目指していく。

②外出余暇

計画では個別外出1回、ミニ個別外出3回実施する事を目標としていたが、新型コロナウイルスにより実施出来なかった。遠方の外出を控えた一方で、工賃で好きな買い物をする喫茶外出を12月上旬に実施した。1回のみの実施ではあったが、初めて参加する利用者やそのご家庭では喜ばれる話が聞かれている。

③地域活動

i. 地域に出ること

計画では児童館と共同で行える活動を作る事を目標としていたが、新型コロナウイルスにより実施出来なかった。

ii. 地域と関わること

計画では野菜販売の実施、自主生產品の販路開拓を進める事を目標としていたが、新型コロナウイルスにより実施出来なかった。

(2) 就労移行支援

①新規利用者の確保

i. 施設見学会・説明会

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、施設見学会・説明会を実施することが出来なかった。インターネット等を通じての開催も検討したが、環境設備が整わず実行に至っていない。機関誌を作成し関係各所に配布してはいるが、新規利用者の確保には至らず非常に困難を極めた。

ii. 就労継続支援B型利用者及び保護者のニーズ（要望）の掘り起こし

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、通所自粛要請等を行う等、就労継続支援B型利用者が就職活動へ積極的に取り組める状況ではなかった。また就労意欲がある方でも、工賃を家計に繰り入れている為、工賃作業が主体の就労継続支援B型から、就職に係る訓練が主体の就労移行へ変更することで、生活への影響が出てしまうという意見も上がっている。

②利用者それぞれのニーズ（要望）に添った活動内容の充実と個別化

朝学習の充実、施設内業務の作業体験への活用、自己管理能力（健康管理能力、書類整理能力等）の育成に取り組んだ。特に令和2年度3月から自主生産品でハーバリウム（ボールペン・観賞用瓶）に着手している。外出が出来ない等活動内容にも制限がある中で、利用者のニーズを把握し、意欲を向上できる環境設定が出来ている。

③利用者本人なりの「働く意味や目的」を見出し「働く意欲」を向上出来る機会の提供

就職活動時に選択できる職種の拡大、工賃の仕組みや、使い道を知る機会を提供、「働く意欲」を高める為の家庭との連携に取り組んだ。令和2年度は個別支援計画の中でおこづかい帳の管理に取り組む利用者が多数おり、金銭管理について意識が出来るようになったことで、働く意味や目的を見出すことが出来ていた。これまでは御家族同伴での買い物の機会が多かった利用者も、これを機に利用者本人のみで買い物や外食に出掛ける機会が多く見受けられた。

(3) 就労定着支援

平成31年4月1日より実施している事業で、令和2年度は最大3名の利用者の定着支援をした。原則利用者本人と月に1回は面談を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、会社訪問が制限される場合も多くあった。利用者本人や御家庭と連絡を取りそれぞれのニーズに沿って、家庭訪問や電話にて状況を伺っている。

(4) 就労継続支援B型

①作業活動を通じて「働く・収入を得る」ことを支援する。

i. 工賃向上。目標平均工賃 16,500 円

受注作業について、新型コロナウイルスによる社会的な影響から、既存の受注先からの受注作業が大きく減少、コロナ特需ともいえるフェイスシールドやマスクといったこれまでになかった作業を一時的に受注するも、年度前半3か月の作業収入は前年比20%

減に落ち込んだ。取引先へのこまめな営業等により単発の受注を何とか確保することができたが、作業内容的に高度なものが多く利用者全体で携われる作業提供には課題があった。時間経過に伴い既存の受注先からの受注が少しずつ戻りつつあるが安定した受注量には至らなかった。単発等で発生する仕事は、納期や内容にも多少の無理を強いながら受けてきた。結果として目標工賃は達成できなかったが、コロナ禍における状況にあつて前年度同水準の平均工賃を維持できたことは一つの評価といえるのではないだろうか。受注作業における安定した作業活動は、次年度も苦戦が予想されるが共同受注ネットワークとの連携を深めながら、さらに新規取引先の獲得を目指して工賃アップを図りたい。

自主生産については、これまで主な作業収入源となっていた地域イベントがコロナ禍により軒並み中止となったことで前年度収入の36%程度と大幅に減少している。新規自主生産品の検討、試作等を試みるも利用者が携われる作業工程の切り出しに難航し実現に至らなかった。多くの利用者が携われる作業内容の自主生産品の検討を継続して行いたい。

施設外就労については4名の利用者が交代しながら実施している。清掃のチェック表を作成し、誰がどの道具を使用してどのように清掃するといったことを明確にすることにより、質の維持・向上を図っている。

生産活動収入

単位：円

	受注作業	自主生産	施設外就労	合計
令和2年度	5,273,675	112,162	2,334,488	7,720,325
令和元年度	5,275,282	308,726	2,317,016	7,901,024
差異	▲ 1,607	▲ 196,564	17,472	▲ 180,699
前年同期比	99.97%	36.33%	100.75%	97.71%

平均工賃額

単位：円

令和2年度	15,046
令和元年度	15,062
差異	▲ 16
前年同期比	99.89%

②障害特性に配慮しながら根拠に基づいた支援及び一人ひとりの強みを引き出す支援の実施。

i. 根拠に基づいた障害特性に合った支援の実践。

日々のアセスメントに基づき、作業開始から終了までを見通しを持って臨めるよう作業提供方法を検討、統一した支援提供を行うことで主体的に安心して作業に取り組める環境を創った。外部スーパーバイザーによるスーパーバイズを2名の利用者の支援について受けている。アドバイスを活かした支援についても毎日の振り返りを行って障害特性に合った支援を実践している。

ii. 一人ひとりが持っている強みを引き出す支援の実践。

作業工程の細分化、ジグの活用、作業資材を取りに行く場所や完成資材を置く場所の明確化等の環境整備により、自立して作業を行えるように支援を実施している。多くの利用者がそれぞれの「できること」を活かしながら作業に取り組める機会の提供を今後も継続したい。

③余暇活動を実施し、「表現すること」「楽しむこと」「経験すること」を支援する。

i. クラブ活動の実施

外部講師による音楽・造形のクラブ活動を月に1回予定していたが、緊急事態宣言中の活動は中止となり年間6回の実施。デュオフェスティバルも中止となった為、音楽クラブの活動発表の機会を提供できなかった。造形クラブでの創作活動の作品も例年は外部での展示を行っていたが今年度は実施できなかった。創作クラブの外部講師が令和2年度末で退職となる為、次年度は係担当を中心に実施していきたい。

ii. 余暇活動の実施

集団での活動が楽しめる利用者に対しては作業開始前に体操を行い、身体を動かすことで気分のリフレッシュ、楽しみの時間、作業への切り替えの機会としている。個別の対応として本人の好きなこと（絵を描く、雑誌を見る、音楽鑑賞等）を提供することで、休憩時間＝何をしてもよいかわからない時間とならないように配慮し、見通しを持ちながら安定して過ごせるように取り組んでいる。

iii. 個別外出、宿泊旅行の実施

新型コロナウイルス感染予防の観点から個別外出、宿泊旅行は中止し実施していない。

④地域の一員として生活するための支援を行う。

i. 一昨年度作成した中野区の社会資源マップの更新。

中野区障害福祉のしおり（令和元年10月発行）の情報を基に、今後も更新作業を行いやすいようにラミネート加工した形に一新し社会資源マップの更新作業を行った。今後も最新版への更新を継続していきたい。

ii. 社会資源マップを活用して、利用者のニーズに応じて情報提供および利用に関する連絡調整を行う等「つなぐ」支援を行う。

コロナ禍で各社会資源においても従来の活動が制限されており、積極的なつなぐ支援や参加の促しは実施していない。

iii. 地域に出て働くことを通じて地域に貢献しながら地域の理解の促進を図る。

中野区報・なかの区議会だより等のポスティング作業、施設外就労（ゆめなりあ清掃作業）、児童館・高齢者会館清掃作業を実施。作業所内にとどまらず地域に出て働くことを通じて、地域の方々と交流を深め、地域に貢献できるように取り組んでいる。今後も継続したい。

iv. 地域とイベント等を通じて「交流」する。地域イベントへ積極的に参加する。

区役所販売会に参加し自主生産品の販売を行った。その他地域イベントは軒並み中止となったことで今年度は機会を得られなかった。

v. 地域に「貢献」する。

新型コロナウイルス感染予防の観点から施設周辺の清掃やゴミ拾い等は行わなかった。

(5) 行事等の実績

	生活介護	就労継続支援 B 型	就労移行
4 月	入所式	入所式	入所式
5 月	ふれあい運動会 アルモニー展覧会	ふれあい運動会 アルモニー展覧会	職場体験実習面談会
6 月	外部販売		職場体験実習面談会
7 月	外部販売		
8 月	個別外出①	利用者自治会イベント	
9 月	宿泊訓練	宿泊訓練	
10 月	外部販売 デュオフェスティバル	デュオフェスティバル 個別外出①	デュオフェスティバル 会社見学会
11 月			外出行事
12 月			就職セミナー 忘年会
1 月	利用者自治会新年会 外部販売	利用者自治会新年会 個別外出②、個別外出③	職場体験実習面談会
2 月	個別外出②	個別外出④	
3 月			

- ・ 行事については上記行事を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止している。
- ・ 令和 2 年 8 月より中野区労働環境モニタリングを受審した。
- ・ 令和 2 年 12 月南中野児童館と合同で防災訓練を実施した。
- ・ 中野区自立支援協議会他、関係団体の会議等に参加した。
- ・ 中野区社会福祉法人等連絡会主催「つながる中野フードパントリー」に参加協力した。

(6) 食事サービス

- ・ 月一回の食事サービス会議を開催し、食形態等について検討を重ねた。また、保護者との面談時にアレルギーの有無や嗜好の聞き取りを行い会議で共有した。
- ・ 残滓調査の実施（令和 3 年 2 月）

(7) 送迎サービス

職員の負担軽減を図るため、運転手の直接雇用を目指し求人を継続した結果、年度途中で 1 名の雇用ができた。しかし、残念ながら介護業界への転職により短期間での退職となり、従来からの職員の運転・添乗による送迎サービスを継続せざるを得なかった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
登録者数	14人	14人	13人	13人	13人	13人		
送迎回数	84回	72回	88回	84回	80回	80回		
延べ人数	296人	199人	359人	414人	413人	410人		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
登録者数	13人	13人	13人	13人	13人	13人	158人	13.2人
送迎回数	88回	76回	80回	76回	72回	92回	972回	81回
延べ人数	452人	406人	420人	381人	382人	480人	4612人	384.3人

※送迎回数：1日あたり送迎車2台で「迎え」と「送り」を行っている。

(8) 指定特定相談支援事業

今まで同様に、利用者一人ひとりの人生を見つめた支援を心掛けた。利用契約者数には大きな増減は見られていない。また、区外の利用者も継続して相談支援を行った。

ご本人・ご家庭の状況変化により居宅介護等サービスを必要とした際には、中野区内の相談支援事業所（相談支援専門員）を紹介し、引継ぎを丁寧に行い、スムーズな事業所移行を図った。

契約者・当該月内延べ利用者数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約	46	46	46	46	47	47	47	47	47	46	45	44
延べ	10	5	11	9	9	11	7	9	6	11	12	7

※当該月内延べ利用者数は、実働による人数であり給付費請求件数とは異なる。

7. 権利擁護・虐待防止への取り組み

毎月、施設陰影会議に併せて虐待防止委員会を開催した。権利侵害、合理的配慮の視点から日常の支援で気になった支援内容、事故防止等について共有し、より良い支援方法等について検討を行った。検討結果は各サービスの支援会議等で職員に周知を行った。

また、全職員向けに権利擁護・虐待防止に関する研修を実施した。欠席者に対しては資料を配布し、意識啓発の機会とした。

東京都が実施する虐待防止研修は申し込みが通らずに受講できなかった。

8. オンブズマン活動

専属のオンブズマンを設置し、利用者が話しやすい雰囲気を作るため、予めオンブズマンの顔写真や連絡先などを掲示し、安心して相談できる案内を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実際に来所していただくなどの動きは取れなかった。

9. 弥生福祉作業所連絡会

事業所の重要事項の意見交換や行事等の説明を目的に開催した。

実施日	参加者数	主な内容
4月16日(木)	中止	
6月18日(木)	20名	区要望の回答、人事、運営について等
7月16日(木)	中止	
9月17日(木)	17名	行事、感染対策、人事、空調関係の報告等
12月17日(木)	書面報告	防災備蓄、年末年始の運営等
3月18日(木)	書面報告	法人新規事業、事業に関する報告、人事等

10. 弥生福祉作業所運営協議会

事業所の運営に施設利用者等の意見を反映し、円滑な事業運営を行うため運営協議会を設置し、開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発出により、書面による報告に代えて実施した。

実施日：令和3年1月

内 容：・年間事業報告

・共生社会の実現に向けた新たな取組についての経過報告 等

11. 地域交流・ボランティア

事業所が区民のボランティア活動の場となるとともに、障害の理解・啓発の機会となるよう積極的にボランティアを募集してきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から受入れの制限を行わざるを得なかった。また、10月のデュオフェスティバルを筆頭に行事の開催も見合わせたため、地域の方と協力や利用者との交流を深める機会が限定的であった。

12. 実習生受け入れ

(1) 特別支援学校高等部実習受入実績

生活介護 1名

就労継続支援B型 5名

(2) 専門学校・大学等実習受入実績

① 相談援助実習（社会福祉士養成課程）

今年度の受け入れ無し。

② 保育実習（保育士養成課程）

6名

③ 教育職員免許法の特例による社会福祉施設介護等体験（介護体験）

今年度の受け入れ無し